10月 図書室だより

2025.10

秩父市立荒川中学校図書室

日中の暑さも落ち着き、過ごしやすい季節となりなした。

校舎内では３年生の郷土芸能に加え、文化祭に向けた合唱練習の歌声も響くようになり、図書室にて芸術の秋をたっぷり堪能させていただいています。

芸術の秋、食欲の秋、そして**『読書の秋』！**

たっぷり秋を楽しみましょう！



＜後期図書委員さんご紹介＞

委員長	２―A	さん
副委員長	２―A	さん
委員	３―A	さん
	３―A	さん
	１―A	さん
	１―A	さん
	１―A	さん

わかりやすい本の紹介、そして『笑顔』で貸出をモットーに　頑張ります！



前期の図書委員さん、とてもよく頑張ってくれました。
ご苦労様でした

以上のメンバーでやっていきますので、ご協力よろしくお願いします。

＜第79回　秋の読書週間＞



今年の標語は

『こころとあたまの深呼吸』に決定！

「めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。

心が震え、ため息をつく。

ハッと気がつき、息をのむ。

ひと息ついて、まためくる。

そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」（標語作者のことばより）

みなさんにはどんな読書体験が待っていることでしょう？

本は未来への扉。さぁ、本を手にとろう！

来月「荒川中　読書週間」を予定しています。

～ 新着本紹介 ～

＊各社本紹介より抜粋



昔話×空想科学！！
なにげなく読んでいる「昔話」。
それって本当？って思うことはないですか？
科学の視点で読んでいくと……。

『もしも桃太郎のおばあさんがマッチョだったら』
柳田理科雄・著



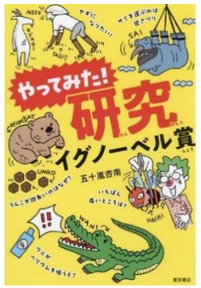
一見ふつうにみえる写真。
写真にまつわる話を読んでみると、おかしな点がうかびあがる……。
あなたは写真に隠された「真実」を見ぬけるか？

『どこかがおかしい』
佐東みどり他・著



生きるために食べよ！
命に直結する「食」をテーマに、グリコ森永事件から、スイーツのリメイク、伝説の料理人の話まで、やみつきな極上**サバイバル×ミステリー！**

『3分間サバイバル NEO：美食の迷宮』
栗生こずえ・著



「笑える」だけと「考えさせられる」がテーマのイグノーベル賞。
自分の体を実験台にしたり、ざんしんな発想で調べてみたり、そんな世界のスゴすぎる研究を解説。

『やってみた！研究イグノーベル賞』
五十嵐杏南・著



誰にでも青春はあった。
被害者にも犯人にも、そして刑事にも――。
華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。

『架空犯』東野圭吾・著



“喰種（グール）”が集まる喫茶「あんていく」には、**今日も様々な葛藤と事件が集う。**
“不審人物”の影は、どんな闇を落とすのか。

『東京喰種』石井スイ・原作



地域の歴史や独自の風習が表現されている＜お祭り＞。
そのお祭りを知ることで、日本の地理・歴史・文化までさまざまなことが学べます。

『キャラ絵で学ぶ！日本のお祭り図鑑』
山折哲雄・監修



ピカソ、夏目漱石、スティーブ・ジョブス、坂本龍馬……みーんな「好き」を伸ばしまくっていた！
そんな**彼らの勉強法、あなたはマネする？マネしない？**

『ヤバすぎる！偉人の勉強のやり方図鑑』
真山知幸・著



闇バイトは犯罪です。
知らずに関わってしまっても、犯した罪は消えることはない。
どうやったら関わらずにすむのか、回避策を徹底解説！

『本当に危ない闇バイトの話』
廣末登・監修



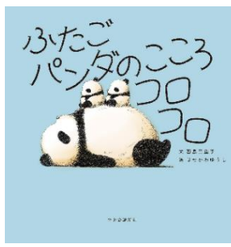
君との出会いは科学であり、ミステリーであり、恋だった。
無関係だと思われたひとつひとつの因果はどこかでつながっていて、あとから振り返って初めて＜青春＞と認識する。

『よって、初恋は証明された。』
逆井卓馬・著



構想から約10年。
元KAT-TUNメンバー上田竜也が仲間を想う心を小説にのせる――。
バンド活動に全力で立ち向かい、憧れの武道館を目指す物語。

『この声が届くまで』
上田竜也・著



ころんころん。
ふたごのパンダがとびたつ先は？
読むたび、心がじんわりあったまる。
あしたげんきになあれ！

『ふたごパンダのこころコロコロ』
西島三重子・文

他にもあるので見に来てね！